



2019年12月24日

各位

会社名 日 東 紡
代表者名 取締役代表執行役社長 辻 裕一
(コード:3110、東証第1部)
問合せ先 執行役 多田 弘行
(電話番号 03-4582-5040)

スペシャルガラスの国内生産設備増強に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会でスペシャルガラス（NE ガラス*1、T ガラス*2）の国内ヤーン生産設備を増強する方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

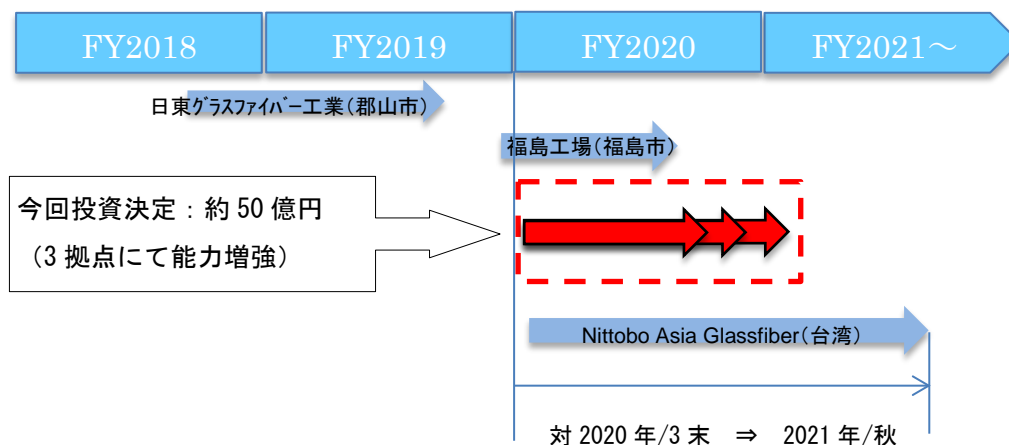
1 概要

クラウド化の進展やコンテンツの高度化、次世代通信規格 5G の運用開始等により、グローバルレベルで情報トラフィックが増大し、高速大容量のデータ処理に対応した基地局、サーバー等に求められる機能・性能が高度化しています。当社のガラスクロスはプリント配線基板に用いられており、なかでも高速大容量のデータ処理に資するスペシャルガラスへの需要が高まっています。

今年度初頭よりスペシャルガラスの溶融炉を日東グラスファイバー工業株式会社（福島県郡山市）に増設し、生産能力を拡大して参りました。本年3月28日に福島市（稼働予定：2020年秋）および台湾（同：2021年秋）にスペシャルガラスの生産設備を増強する旨のリリースを行いました。想定以上にスペシャルガラスの需要が増加しているため、旺盛な需要にお応えすべく国内既存工場内に約50億円を投じて更なる溶融炉の新設・増強を行うことといたしました。

今後、詳細検討を進めて参りますが、日東紡 福島工場（福島県福島市）及び富士ファイバーグラス株式会社（栃木県真岡市）にスペシャルガラスの溶融炉を新設し、日東グラスファイバー工業株の溶融炉を定期修繕に合わせて増強を行い、2020年秋以降、順次稼働させる予定です。生産キャパシティは、2021年秋に台湾の新工場が稼働した段階で、2020年3月末に比して約70%の増加となります。

スペシャルガラス生産設備増強 概要



※矢印の終点は完工予定時期

約70%増

2 今後の予定

本件に係る投資の詳細、スケジュール、業績への影響等は、開示すべき事項が生じた場合に速やかにお知らせいたします。

[*1NE ガラス]

NE ガラスは低誘電率、低誘電正接特性を持ち、伝送ロスを抑え大容量の高速伝送が要求されるデータセンター向けサーバーや基地局の高周波部材等として使用されています。

[*2T ガラス]

T ガラスは低 CTE（低熱膨張）特性及び高引張り弾性特性を持ち、小型化・高機能化に加え高精度の寸法安定性が求められるサーバーやスマートフォンなどの半導体パッケージ基板に使用されています。

以上